

報道関係 各位

2018年1月23日
学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学

東京ミッドタウン・デザインハブ 第71回企画展

地域^{かける}×デザイン 2018 -まちとまちをつなぐプロジェクト- 開催

デザインを活かした地域の取り組みを展示とトークイベントにより紹介

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学(東京都港区、学長 田中里沙)は2018年2月23日より、東京ミッドタウン・デザインハブにて、第71回企画展「地域×デザイン 2018 -まちとまちをつなぐプロジェクト-」の企画運営を行います。本企画展では、全国から選りすぐった10件の地域プロジェクトを展示形式で紹介するとともに、日ごとにテーマを設定しゲストを招いたトークセッションやワークショップなども実施します。

会期：2018年2月23日(金)～3月11日(日) 11:00～19:00 会期中無休・入場無料

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

ポイント1 全国から選りすぐった優れたデザイン「10のプロジェクト」を展示

グッドデザイン賞を主催し、地域振興としてデザインプロジェクトの運営支援もおこなう日本デザイン振興会と、地域活性化の実践者を育成する事業構想大学院大学が全国から最新のプロジェクトを選出、企画しました。デザイン視点を地域活性化に活かしたプロジェクト、今後さらに注目の集まるプロジェクトをご覧ください。

ポイント2 開催期間中に50人以上の地域活性化のキーパーソンが登壇

渋谷未来デザイン構想を掲げる渋谷区長の長谷部氏(予定)、『なぜローカル経済から日本は甦るのか』の著者で経営共創基盤の代表取締役CEOの富山氏、神山町活性化の立役者であるNPO法人グリーンバレー理事長の大南氏など、地域活性化の実践者が50人以上登壇します。期間中にはサポーター企業である株式会社日本人材機構と「地域×働き方」に焦点を当てたトークイベント「SELF TURN week」も開催します。



渋谷区長
長谷部 健 氏



株式会社
経営共創基盤
富山 和彦 氏



NPO法人
グリーンバレー
大南 信也 氏

ポイント3 時代のキーワードである「働きかた」の最新情報を発信

3回目となる今回は「移動する」「働く」「つなぐ」をテーマとして開催します。展示プロジェクトとトーク・講演は全国から優れたケーススタディを集めて企画。自治体首長、デザイナー、地域企業など様々な立場による現在進行形の最新情報を得られるとともに、来場者と地域キーマンによるネットワークを生み出す場となります。

ポイント4 全国初、自治体シティプロモーション調査の結果を発表

事業構想大学院大学による自治体のシティプロモーション活動の調査結果を発表します。自治体のデザイン活用の現状についても調査し、今後の地域活性化におけるデザインの可能性を考察します。

●企画概要

東京ミッドタウン・デザインハブ 第71回企画展
地域×デザイン 2018 -まちとまちをつなぐプロジェクト-

国際的なデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区/構成機関:公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ)が主催、グッドデザイン賞を主催するデザインプロモーション機関である公益財団法人日本デザイン振興会と、プロジェクトデザインで社会を変革する力を持った人材育成を目指す学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学(東京都港区、学長:田中里沙)の共同企画運営で第71回企画展「地域×デザイン 2018 -まちとまちをつなぐプロジェクト-」を2018年2月23日より開催します。全国から選りすぐった10件の地域プロジェクトを展示形式で紹介するとともに、日ごとにテーマを設定しゲストを招いたトークセッションやワークショップなども実施します。本展は第1回目を2016年2月に、第2回目を2017年2月に開催し、各回約1万人に上る来場者を集めました。

これまでの地域×デザイン展では、デザインの視点で地域を見つめ、地域の問題を解決しているプロジェクト、地域に潜在する魅力を発見し伝えているプロジェクトを紹介してきました。今回は「移動する」「働く」「つなぐ」をテーマとして、具体的にアクションを起こすフェーズへと入っていきます。今回も全国から公募で集まった地域デザインプロジェクトの展示と合わせて、各地で活躍するキーパーソンをスピーカーとして招聘し「まちとまち」「人と人」を繋ぐ仕事・生き方を、来場者とともに模索していきます。

名称:東京ミッドタウン・デザインハブ 第71回企画展
地域×デザイン 2018 -まちとまちをつなぐプロジェクト-

[英文] Local Design Studies 2018: Projects for Revitalizing Communities

会期: 2018年2月23日(金)~3月11日(日) 11:00~19:00 会期中無休・入場無料

会場: 東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

概要: 地域の特色を活かしたプロジェクトを紹介する展示とトークイベント

主催: 東京ミッドタウン・デザインハブ

企画運営: 公益財団法人日本デザイン振興会、学校法人 先端教育機構 事業構想大学院大学

後援(昨年実績): 内閣府、経済産業省、総務省

サポーター企業: 株式会社日本人材機構

本来の自分らしく、はたらく。

selfTURN
セルフターン

開催期間中、「地域×働き方」に焦点を当てたトークイベント「SELF TURN week」を開催します。SELF TURN(セルフターン)とは、『働き方=生き方』と捉え、自分自身(oneself)の可能性を最大限に生かせる仕事を探すことであり、株式会社日本人材機構が提唱している考え方です。

協力: 株式会社ニューズピックス、特定非営利活動法人エティック、株式会社ビズリーチ

お問い合わせ先

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学(担当: 桑田、萩原、福田)

Tel. 03-3478-8401 E-mail pjlab@mpd.ac.jp

企画展ウェブサイト: <https://www.mpd.ac.jp/lds/2018/>

* 画像のご用意があります。担当までお問い合わせください。



昨年の会場風景



地域×デザイン2018メインビジュアル

● 展示で紹介する10のプロジェクト



コミュニケーションツール「ウマジン」(青森県十和田市)

昔は日本有数の馬産地として、現在はアートの街として知られる青森県十和田市。地域の伝統芸能「南部駒踊り」をヒントにデザインされたウマジンは、組立、解体、カスタムが容易な、人がかぶる馬頭型オブジェ。2012年に東日本大震災に対する支援活動の仕組みの一環として考案された。年齢や人種を問わず誰でもつつい笑顔になるコミュニケーションツールとして、ワークショップやパフォーマンスなどの活動を続けている。



山名八幡宮の取り組み(群馬県高崎市)

群馬県高崎市で840年以上の歴史を持つ山名八幡宮による地域再生。安産子育ての神社が、家族や地域の社会問題を解決する場として再生することで、神社と地域社会の接点を広げる真の心の拠り所となり、そこからあがる地域活性化を目指している。神社境内に、親子カフェ、天然酵母パン屋、グローバル教育スクール、発育障害児童施設、6次産業化推進工房、子ども用スキンケアショップ、公園を運営し地域の社会問題に取り組む。



産地特化型のデザイン事務所「TSUGI」(福井県鯖江市)

福井県鯖江市の「TSUGI」は、産地の活性化に不可欠な地場企業のブランディングや産業観光に取り組む、新時代のデザイナー集団。メンバーは全員が移住者。地元企業のデザインワークやブランディングのほか、産業観光イベントの企画・運営、自社製品開発などに取り組み、産地に新風を吹き込んでいる。地域の「インタウンデザイナー」として、デザイン・ものづくり・地域といった領域を横断しながら、鯖江の産業に貢献している。



職人に弟子入りできる宿「BED AND CRAFT」(富山県南砺市)

木彫刻の町として知られる富山県南砺市井波地域で「宿泊しながら、職人に弟子入りできる宿」をコンセプトに始まった新しいスタイルの宿泊施設。ゲストは古民家を改修したゲストハウスに宿泊しながら、町に点在する職人の工房に通い、クラフトのワークショップを体験することができる。また、地域には600年以上の歴史を持った古い街並みが残っており、老舗の酒造場や蕎麦店を周りながら地域の人々との交流も楽しむことができる。



福山市本通・船町商店街アーケード改修プロジェクト(広島県福山市)

広島県福山市で江戸時代から続く本通・船町商店街に30年前につくられたアーケードの改修プロジェクト。アーケードの記憶を継承しながら商店街ならではの風景を新たに再創造している。軒を連ねる商店街の連帯感を新たな形で生み出すため、既存柱を残しながら天蓋部分は撤去。既存の柱を活かしながらステンレスワイヤーを架け渡し、自然あふれる樹木の下で「歩く喜び」を感じられる公園的なストリートスケープへ生まれ変わらせた。



神山しずくプロジェクト(徳島県神山町)

徳島県神山町で地元産の杉を材料とした食器ブランド「SHIZUQ」。地域の川の水量が30年前の約3割に減って水源自体が危ぶまれていること、その原因が人工林にあることを知り、デザインで課題の解決をスタートしたプロジェクトである。これまで価値がないと言われていた杉を商品化し、地域経済の循環を促すとともに、啓発活動へと展開している。また、地域のロクロ職人の技術継承へも繋がっている。



ブルーシートバッグプロジェクト(熊本県熊本市)

2016年の熊本地震により被害を受けた家屋の応急処置として大量に発生したブルーシートを、回収・洗浄・縫製し、トートバッグにリメイクするプロジェクト。売上の一部は被災地に寄付される。熊本地震を象徴しネガティブな印象を持たれていたブルーシートを「復興のたね」と意味づけて、前向きで明るいものへと転換させている。縫製工場も被災地である大分県竹田市にあり売上金のほとんどが熊本・大分に流れる仕組みとなっている。



生産者支援プラットフォーム「SEND」

SENDは生産者の所得向上を通じて、持続的な生産活動を支える流通プラットフォーム。購入者である飲食店の注文データやメニュー、リクエストに加え、位置情報や天候などのデータから日々の食材の需要量を予測し、生産者に予め作付依頼や出荷予約を行うことができるため、生産者は需要のある食材を作り確実な収益を得られる。畑から食べるまでのタイムラグやフードロスを極小化し、買い手にとっても常に最も鮮度の良い食材が届く社会を実現。



移動スーパー「とくし丸」

全国の地域でスーパー・食料品店の撤退や、公共交通の合理化・貧困化、高齢者のみ世帯の増加などを背景に「買い物弱者」が急速な勢いで増加し大きな社会問題となっている。移動スーパーとくし丸のビジネスモデルは、全国で700万人以上と言われる「買い物弱者」のニーズに応えるとともに、地域スーパーから商材を手配することで店舗経営を応援、さらには販売パートナーとして社会貢献型の個人事業の創出にも貢献している。



伝統茶「tabel」

薬草は国内に300種類あると言われるが、作り手が高齢化し、後継者不足が深刻化している。伝統茶tabelは、北海道から沖縄までの薬草農家とネットワークを作り地域と連携しながら、薬草を活用した茶やウコン味噌などの加工品を開発～販売を行っている。オリジナルの薬草茶を企画し、パッケージデザインやブランディングを通じて新しい販路を拡大することで、地方に雇用と付加価値を生む事業として注目を集めている。

● 講演・トークイベント

オープニングカンファレンス

2月23日(金) テーマ:地域そして多拠点での働き方
15:00~15:40 プレスカンファレンス
16:00~16:50 岩佐十良 特別講演
17:00~17:50 宇田川裕喜 特別講演



里山十帖
自遊人
岩佐十良



baum
宇田川裕喜

注目の先進自治体リーダーによる講演

2月25日(日)
13:00~13:50 牧野光朗(飯田市長)
「iportからイノベーションが起こる地域を目指す」

16:00~16:50 長谷部健(渋谷区長)
「渋谷未来デザイン構想~オープンイノベーション
により社会的課題の解決策をデザインする」(予定)



飯田市長
牧野光朗



渋谷区長
長谷部健

働き方を考えるクロージングトーク

3月11日(日)13:00~19:00

① 伊根町のポテンシャルとこれから
(SmallStandard 代表 當間一弘)



② 人気観光都市、京都における
町家・旅館の再生の実状について
(ワンブロック 辻本祐介)



③ インタウンデザイナーという生き方
(TSUGI 新山直広)



④ 取引から取組を生み出すデザイン
(ブルーファーム 早坂正年、
高橋雄一郎)



⑤ 新たな地場産業、そして
グローバルブランドへ
(キネトスコープ社 廣瀬圭治)



⑥ 神山町で実践する「創造的過疎」
による持続可能な地域づくり
(NPO法人グリーンバレー 大南信也)



スピーカー一覧 (現在予定、敬称略、50音順)

安齊 将(安齊研究所/ウマジン)・伊藤禎則(経済産業省参事官)・岩佐十良(里山十帖/自遊人代表)
・宇田川裕喜(株式会社baum 代表取締役・クリエイティブディレクター)・浦島貴之(滝沢市市民環境部地域
づくり推進課)・大南信也(NPO法人グリーンバレー 理事長)・小城武彦(株式会社日本人材機構 代表取締
役社長)・菊池 紳(プラネット・テーブル株式会社 代表取締役)・児玉光史(地元カンパニー代表)・佐藤か
つあき(一般社団法人BRIDGE KUMAMOTO)・住友達也(とくし丸)・下田倫子(たんねのあかり実行委員会)
・管 大輔(株式会社ガイアックス)・瀬戸昌宣(NPO法人 SOMA 代表理事)・高井俊一郎(山名八幡宮 神職)
・高橋雄一郎(グラフィックデザイナー/ブルーファーム)・立花貴(MORIUMIUS代表)・津田賀央(Route
Design 代表)・富山和彦(株式会社経営共創基盤 代表取締役)・當間一弘(SmallStandard 代表)
・辻本祐介(株式会社ワンブロック 代表取締役)・新山直広(合同会社TSUGI 代表・デザインディレクター)
・新田勢剛(株式会社えふなな 代表取締役)・新田理恵(tabel)・長谷部 健(渋谷区長)・早坂正年(ブルー
ファーム株式会社 代表取締役)・廣瀬圭治(キネトスコープ社 代表)・藤沢 烈(一般社団法人RCF 代表理
事)・前田圭介(建築家/UID代表)・牧野光朗(長野県 飯田市長)・山川智嗣(トモヤマカワデザイン/Bed
and Craft)・山田敏夫(ファクトリエ 代表)・山野智久(アソビュー株式会社 代表取締役社長)

* 上記以外にも講演・トークイベントを実施します。公式ウェブサイトにて随時更新しますので、ご注目ください。

地域×デザイン公式ウェブサイト:<https://www.mpd.ac.jp/lds/2018/>

* トークイベントの事前申し込みに関しても、上記公式ウェブサイトからお申し込みください。(参加費無料)

FAX: 03-3230-6690 もしくは

E-mail: jdp@ozma.co.jp にてご返信ください。

※取材ご希望の場合は、**2月16日(金)まで**にご返信いただきますようお願い申し上げます。

地域×デザイン 2018 プレスカンファレンスのご案内

2月23日(金) 15:00~15:40

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター(東京ミッドタウン・タワー5階デザインハブ内)

プレスカンファレンス

日時: 2月23日(金) 15:00~15:40

会場: インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
(東京ミッドタウン・タワー5階デザインハブ内)

出演者:

事業構想大学院大学 学長・教授 田中 里沙
公益財団法人日本デザイン振興会 事業部長 矢島進二
地域×デザイン2018出展者 各プロジェクト代表者(一部)

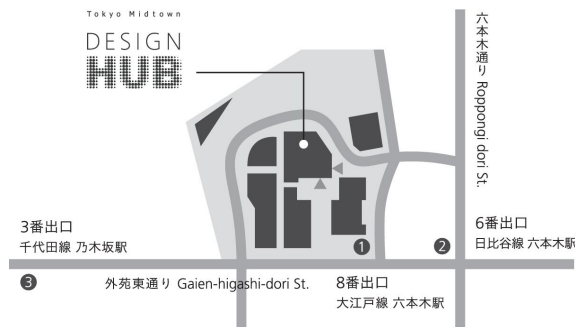
内容:

- ・企画趣旨などの展示概要説明
- ・展示の見どころ、おすすめのトークイベント
- ・全国の自治体によるプロモーション状況のアンケート結果発表

また、続けて16時より同会場にて里山十帖／自遊人 代表 岩佐十良氏、バウム 宇田川裕喜氏による特別講演が開催されますので、ぜひ併せてお申し込みください。

下記にチェックを入れてご返信お願いいたします。

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 15:00~15:40
プレスカンファレンスご出席 | <input type="checkbox"/> 16:00~16:50
里山十帖／自遊人 代表
岩佐十良氏特別講演 ご出席 | <input type="checkbox"/> 17:00~17:50
バウム 代表
宇田川裕喜氏特別講演 ご出席 |
|---|--|--|



1. 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」8番出口より直結
2. 東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路にて直結
3. 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約8分

貴社名		
貴媒体名		
お名前	ご同伴者人数	
お電話	FAX	
取材方法	<input type="checkbox"/> スチール	<input type="checkbox"/> ムービー
個別取材のご要望	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

報道関係お問い合わせ先: 学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 (担当: 桑田、萩原、福田)

Tel. 03-3478-8401 E-mail pjlalab@mpd.ac.jp